



2022年6月7日

各 位

会社名 株式会社 トップカルチャー
 代表者名 代表取締役社長 COO 清水 大輔
 (コード番号 7640・東証スタンダード)
 問合せ先 取締役財務部長 CFO 吉田 勝一
 T E L 025-232-0008
<https://www.topculture.co.jp>

2022年10月期第2四半期(累計)及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年6月7日付の取締役会書面決議に基づき、2021年12月9日に公表いたしました2022年10月期第2四半期(累計)及び通期業績予想について、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

なお、当社の2022年10月期第2四半期の決算発表は2022年6月9日を予定しております。

記

1. 業績予想の修正について

2022年10月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年11月1日~2022年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	13,444	218	209	161	13.32
今回修正予想(B)	11,387	55	53	19	1.64
増減額(B-A)	△2,056	△162	△154	△141	
増減率(%)	△15.3	△74.5	△74.2	△87.7	
(ご参考)前期実績 (2021年10月期)	14,593	204	203	157	13.00

2022年10月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年11月1日~2022年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	25,687	356	304	200	16.55
今回修正予想(B)	22,825	129	104	48	4.03
増減額(B-A)	△2,861	△227	△198	△151	
増減率(%)	△11.1	△63.7	△65.5	△75.7	
(ご参考)前期実績 (2021年10月期)	26,407	356	276	△1,939	△160.52

2. 業績予想修正の理由

当社グループの主軸である蔦屋書店事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための時短営業を継続しておりますが、本年 1 月からのオミクロン株の感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置」が、当社店舗所在の大半のエリアで適用されたことにより、当初計画していた売上高を下回る結果となりました。

利益面におきましては、中期経営計画に掲げております粗利益の改善や運営コストの低減に成功した一方で、前連結会計年度中より上昇していた原油価格に起因した光熱費上昇が、当連結会計年度に入り世界的なエネルギー価格の急激な高騰により、想定を超える光熱費の上昇によるコスト増となりました。その結果、販管費の削減が限定的なものとなり、売上高の減収に加え、光熱費等のコストアップにより利益が大きく押し下げられました。

第 3 四半期以降につきましては、売り場構成の見直しを進めていくことや、第 4 四半期においては新規出店を行うことで売上高の最大化を実現するとともに、引き続き粗利益の改善と運営力の強化によるコストダウンを実現し、利益の最大化に努めてまいります。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上